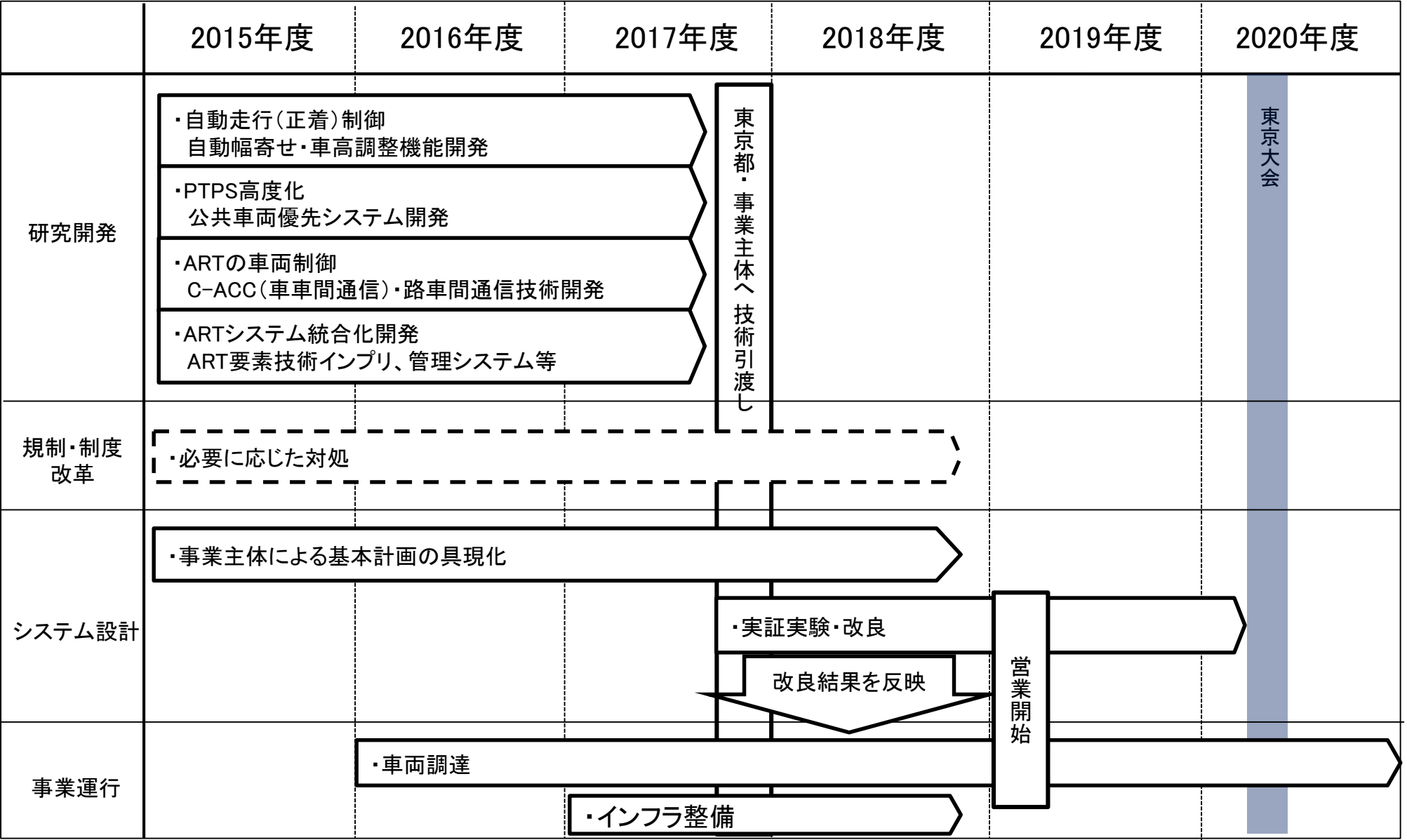


「改革2020」工程表

1. 次世代都市交通システム・自動走行技術の活用

①次世代都市交通システム



1. 次世代都市交通システム・自動走行技術の活用

②高齢者等の移動手段の確保

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
事業モデル検討	・事業モデルの明確化を推進					東京大会
実施場所検討		・実施場所を選定				
技術・制度環境検討		・技術の開発・安全性の検証・改良等を実施				
事業運行					・可能なものから実証事業開始	

③隊列走行の実現

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
事業モデル検討	・事業モデルの明確化を推進					東京大会
実施場所検討		・実施場所を選定				
技術・制度環境検討		・技術の安全性の検証・改良等を実施				
事業運行					・可能なものから実証事業開始	

2. 分散型エネルギーの活用によるエネルギー・環境課題の解決

①再生可能エネルギー由来のCO2フリー水素の利用

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
事業計画策定	・事業計画策定					東京大会
開発・実証・導入		・再生可能エネルギーを活用した水素製造技術の開発 ・効率的な水素輸送方法の確立 ・燃料電池バス等の開発・普及 ・水素ステーションの計画的な整備 ・規制改革等の制度整備				
テスト稼働					・テスト稼働	

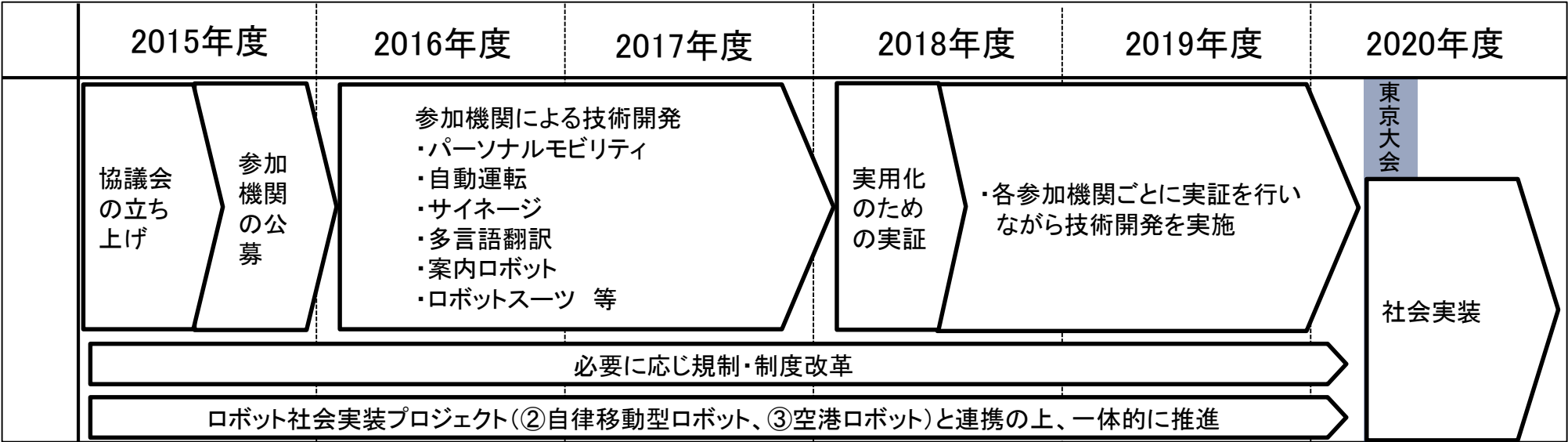
2. 分散型エネルギーの活用によるエネルギー・環境課題の解決

②革新的エネルギーマネジメントシステムの確立

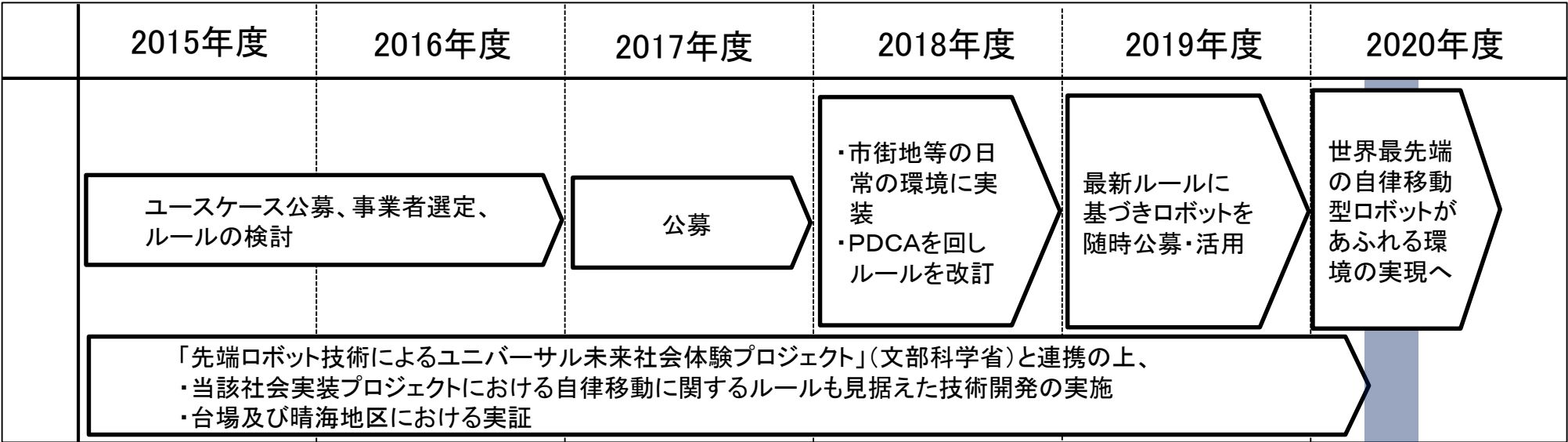
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
事業計画策定	・事業計画策定					東京大会
開発・実証・導入		・分散する蓄電池等の群制御技術の確立 ・蓄電池技術の高性能化、長寿命化 ・気象観測・予測データの活用による安定的な電力供給 ・需要家側エネルギー資源の活用に向けた環境整備				
テスト稼働					・テスト稼働	

3. 先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現

①先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会体験プロジェクト

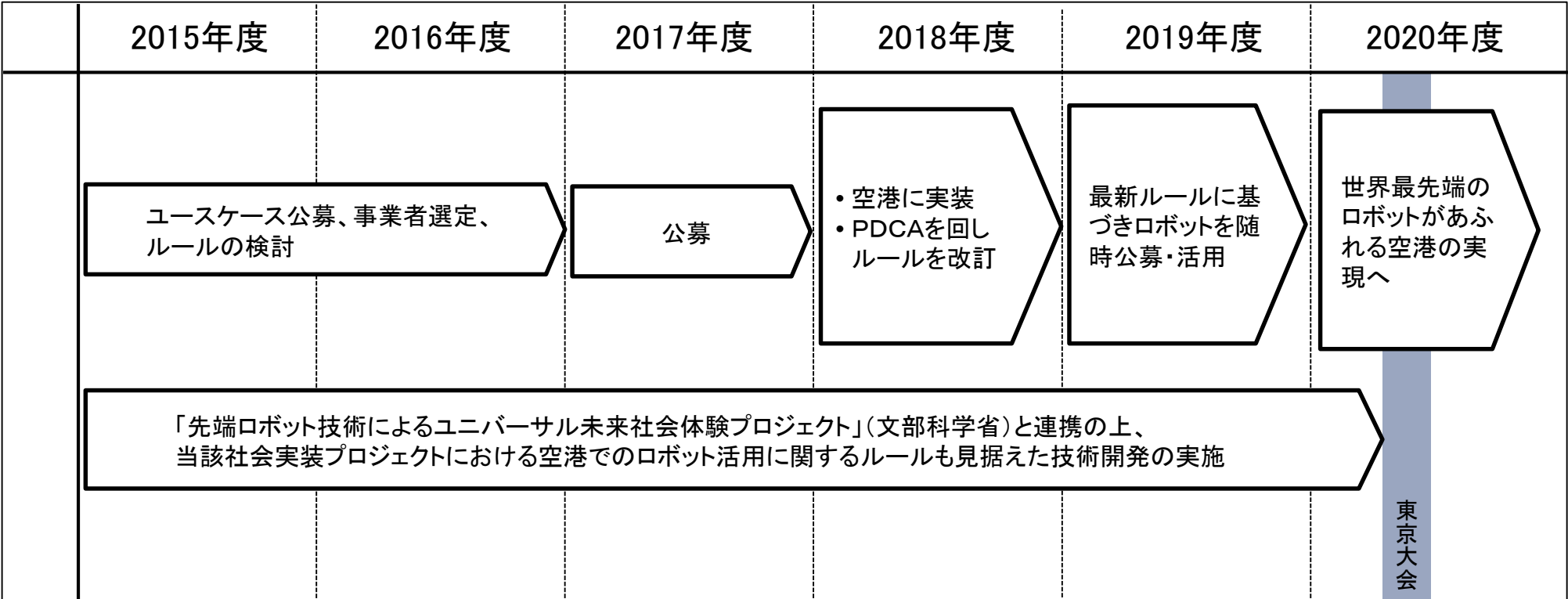


②ロボット社会実装プロジェクト(自律移動型ロボット)



3. 先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現

③ロボット社会実装プロジェクト(空港口ロボット)



4. 高品質な日本式医療サービス・技術の国際展開(医療のインバウンド)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	国際展開TFインバウンドWGにて「医療渡航支援企業（仮称）」の認証ガイドラインの策定 ・認証機関による医療渡航支援企業の認証制度運用 ・認証機関による業界全体のレベルアップを目指した人材教育の実施 ・進捗状況を踏まえた見直し、更なる取組					東京大会
	外国人患者の受入れを行う「日本国際病院（仮称）」のリスト化、HP等作成 ・医療渡航支援企業を介した外国人患者の受入れを促進 ・進捗状況を踏まえた見直し、更なる促進 海外に発信したい日本の医療を実際に体験してもらう拠点（既存の医療機関等）をショーケース化					
	日本の医療及び上記取組の海外へのPR					

5. 観光立国のショーケース化

①観光地域

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本版DMO	エリア選定方法検討 エリア選定・確定 日本版DMOの立上げ、取組体制整備 ・部局横断プロジェクトチーム発足 ・各省連携					東京大会
観光資源の磨上げ	地域資源の磨き上げ、滞在プログラムを提供する仕組みづくり ・地域資源を活用した新商品・サービスの開発・提供 ・日本食・食文化、農山漁村等の魅力活用 ・文化財の保存・整備・活用、地域の歴史的まちなみ等の活用 ・地域の自然を活かしたエコツーリズムの推進 等					
ストレスフリーの環境整備	ICTを活用した訪日外国人旅行者拡大に向けた環境整備(対象地域におけるICT化推進) ・Wi-Fiの整備・充実 ・多言語対応 等 カード・アプリによる「ストレスフリー」な環境整備					
海外への情報発信	・ビジットジャパン事業による海外への地域の魅力発信、クールジャパンとの連携 ・地域の魅力を伝える放送コンテンツ等の発信 ・文化プログラムを活用した日本文化の発信 等					

5. 観光立国のショーケース化

②東京

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
公共交通機関等におけるバリアフリー化	・オリ・パラに向けたバリアフリー化調査	・2015年度のバリアフリー化調査の結果等を踏まえ、 -空港からのアクセスルート -競技会場周辺 -主要ターミナルや観光スポット における面的・一体的なバリアフリー化の推進				東京大会
心のバリアフリー	・公共交通事業者の職員教育を通じた接遇の向上	・一般国民に対する普及・啓発活動	・心のバリアフリーに関する国民的な運動の展開			
分かりやすい案内情報提供の推進	・デジタルサイネージによる使用言語等の属性に応じた情報提供機能の拡大の検討 -災害情報の一斉配信 -美術館のクーポン入手等	・デジタルサイネージの普及				
	・案内表示の統一化、ピクトグラムの新規作成等に向けた調査	・作成したピクトグラムのJIS化に向けた調整 ・情報提供設備の調査	・2017年度、2018年度の調査結果等を踏まえ、ピクトグラムやデジタルサイネージを活用した新しい案内表示の導入支援			
	・ICTオープンデータ環境の整備支援 等		・バリアフリールート等の情報提供の充実 -ICTオープンデータプラットフォームの構築			

5. 観光立国のショーケース化

③成田空港・羽田空港

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
鉄道・バス による アクセスの 改善	・交通政策審議会 鉄道部会における 検討	・空港アクセスの改善に向けた取組					東京大会
	・国家戦略特区(東京圏(注))における空港アクセスバス事業の推進(運賃の柔軟な設定等)、 深夜早朝時間帯におけるバスアクセスの利便性向上等を通じたバスアクセスの更なる充実 (注)東京都9区、神奈川県、千葉県成田市						
	・羽田空港の深夜早朝時間帯におけるバスアクセスの更なる 充実にに向けた取組						
空港を ゲートウェイ にした様々な コンテンツの 発信	・デジタルサイネージによる 訪日外国人旅行者への観 光情報の提供 ・空港におけるロボット活用 に向けた検討 等	・デジタルサイネージの普及 等					
世界最先端の トイレ	・トイレの質の向上 の検討	・トイレの質の向上に向けた普及・啓発					

※同様の取組を成田空港・羽田空港以外の地方の空港に波及させる。 — 10 —

6. 対日直接投資の拡大に向けた誘致方策

